

令和4年度 埼玉県小学生バレーボール連盟理事会 議事録

期 日 令和4年4月24日(日) 18:00~19:05

会 場 ZOOM

出席者 山下会長・相沢副会長・有井副会長・小俣理事長・北田副理事長・笠原副理事長・大澤副理事長・飯塚副理事長・金子常任理事・畔原常任理事・栗原常任理事・徳永常任理事・宮崎常任理事・松浦常任理事・五味理事・中里理事・鈴木理事・石田理事・梅田理事・河田理事・小林理事・古田理事

会長挨拶 ご参集に感謝する。県大会出場数の決定についての慎重審議、忌憚のない意見を願います。

議題

【協議事項】

1 全日本バレーボール小学生大会 埼玉県大会について

(1) 出場チーム数について(女子・混合)

○北田競技委員長 配布資料の通り。計110チームの申込。全カテゴリーとも1次予選は3チームのリーグ戦となるよう配慮した。調査の結果、試合会場の提供可能数は満たしている。

○小俣理事長 女子と混合にて2次予選での不均衡が気になる。県大会出場数を各1増やせないか。

○有井副会長 1次予選を4チーム戦2チーム昇格にて行えないだろうか。

→北田競技委員長 4チーム戦にすると1敗すると残留できない。3チーム戦では、その限りではない。

○石田副東部委員長 若鮎大会のシード権は いかになるのか。

→北田競技委員長 1次予選において全シードチームを振り分けることができる。

○栗原西部委員長 4チーム戦6試合が実施できないだろうか。

→小俣理事長 4チーム戦4試合であるから食事を摂らずに終了できると考える。

→北田競技委員長 6試合戦に戻すのは感染対策を講じた上でも時期尚早と感じる。

○石田副東部委員長 4チーム戦で1チームと2チームそれぞれが残留の事例はあるか。

→北田競技委員長 昨年度は2次予選にて奇数チームを選出するために、この変則的な方式を実施済み。

○小俣理事長 1次、2次予選には公平性を求めたい。女子と混合は提案より1増でいかがか。

○北田競技委員長 1チームを増やし1試合が追加されることは競技として問題無い。

○飯塚審判委員長 審判も特に問題無い。

○金子指導普及委員長 1増案は2次予選のバラツキを是正できるので賛成である。

会議参加者全員が意見を述べ、1増案の賛同が得られた。

→山下会長 1増案(女子13、男子8、混合9)で県大会を実施する。その他詳細は理事長承認の上、競技委員長より監督会議にて開示してもらいたい。

○北田競技委員長 県大会初日午前は男子と混合、午後は女子。2日目は各カテゴリー午前のみ3試合。

○小俣理事長 以上の決定事項等は北田競技委員長より監督会議にて説明いただく。

2 その他

○大澤総務委員長 4/29 伝達会兼全日本バレーボール小学生大会1次予選監督会議 深谷ビッグコート 役員集合8時(体育館横入口より入館) 受付開始9時(各地区にて配布、集金他)